



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2013年 4月 1日発行  
No.26 向日市寺戸町辰巳4-1-101号  
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

## 市内巡回バス 検討委で「先送り」に まず走らせて、市民の足を育てよ！



杉谷伸夫・58才  
向日市議会議員・市民クラブ  
上植野町イトーピア在住

「やっぱり」ー3月27日、巡回バスを含む向日市民の公共交通支援策を検討する「向日市地域公共交通検討委員会」の最終会合の結論は、危惧していた通りでした。前回までに、市内巡回バスを含む4案が出されていましたが、委員会の結論は、

- (1) ①短期的には、既存バス路線の再編による対応、②中長期的には巡回バス導入等の検討や、老人福祉センター送迎バスの活用等
- (2) 今後、その実現に向けた協議・調整を行う「(仮称)向日市地域公共交通会議」を設置する、というもの。

これまでの調査や検討から、なぜこの結論になったのかも不明。「短期的には既存バス路線の再編」と言いながら、再編案も示されておらず、実現性は全く白紙です。結局、また新しい会議の設置だけが残りました。

1年7カ月の期間と、1千万円近い予算を使った結果がこれでは、市民の期待を裏切っています。検討を延々と続けても結論は出ません。まず走らせ、市民の足に育てることを求めます。すべては市長の姿勢にかかっています。(3月31日・杉谷伸夫)

### 市民の皆さんの声

市民参加でまちをつくる会他より

- 何をするにも、交通手段が大切です。幼稚園や老人センターなど、どこも必要なバスは走らせているじゃないですか。なぜ市は同じように巡回バスを走らせられないのでしょうか。
- 市民活動センターが絶対必要です。向日市の未来をどう描いていくかを知りたいし、関わりたい。市民と行政が協力して取り組んでいくことが必要です。
- 向日市は、観光客を長岡京市に取られていると思います。駅前に観光案内所も案内板も無い。西向日駅近くの朝堂院公園の案内所は教育委員会の施設なので、観光案内はできないとのことですが、おかしい話だと思います。

### 4月の催し案内

- 4月13日(土) 10~12時 参加費無料  
杉谷伸夫の議会報告会  
(向日市民会館・第2会議室)  
報告の後、自由に質疑意見交換。
- 4月21日(日) 10~12時  
杉谷議員と語ろう会「議会、まちづくり、その他」  
場所：杉谷ひろば

### 4/17 近畿市民派議員交流・学習会

- 日時：4月17日(水) 10~17時
- 会場：バンビオ1号館 (JR長岡京駅前)
- テーマ：①児童虐待の理解と虐待予防の取組  
②原発事故子ども・被災者支援法  
③認知症予防対策、認知症ケアネットワークの形成
- 参加費：議員2,000円/一般1,000円
- ※参加希望者は事前にご連絡下さい。



### 連絡先

気軽にいつでも連絡下さい TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-932-1325  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

# 向日市の新年度予算

## 「市民参加」と 「原発防災」が無い

2月26日～3月22日まで、向日市議会3月定例会が開かれました。最大の議題は、4月以降の新年度予算案でした。私は本予算案に反対しましたが、賛成11：反対8で可決されました。

予算関係以外に条例の制定・改正等が数件あり可決されました。私はすべてに賛成しました。

### ■新年度予算の注目事業

新年度予算では、防災事業、節電・環境、学校設備改修に重点配分されています。

- 中学校に続き第2, 第3, 第5, 第6の4つの小学校にエアコンを整備
- 全中学校の耐震補強が完了見込み。小学校は平成26年度に全て完了の予定
- 原発に依存せず、環境配慮のまちにむけ、照明や古い空調設備を節電タイプに改修・整備  
街路, 道路, 公園照明, 公共施設照明のLED化。  
老朽化した公共施設の空調設備の改修, 整備
- 災害避難拠点施設を市内3カ所設置し、防災資機材等を整備。普段は市民の憩いの場に活用

### ■私が予算案に反対した主な理由

- ①市民や議会への情報公開の姿勢が極めて希薄であり、市民参加で市民とともにまちづくりを進める予算でないこと。市民活動支援センターや女性センターの設置など、長年の課題が放置されたまま。長岡京市との格差は著しく、年々拡大している。

- ②原発事故から市民を守る施策が何もないこと
- ③市民クラブが訴え続けて来た諸課題が予算反映されず、全く進捗がないこと。
  - 資源ゴミステーションの設置
  - 中学校給食の導入検討
  - オンブズパーソン制度やディベート教育の導入などの教育施策
  - 公立保育所の早急な建て替え・耐震化計画の策定、その他子育て支援

### ■新年度の事業に対して、提案したこと

- ①3ヶ所の防災拠点施設の有効活用を！ソーラーパネルの設置を提案。
- ②公共施設や街路灯のLEDへの置き換えは、民間施設への支援策も検討すること
- ③電力の競争入札を拡大し、脱原発依存と電力購入コストの削減を図ること
- ④市民生活に影響が大きい生活道路の改修は、計画的な改修へむけ予算の拡充をすること
- ⑤経済的な生活困難者への生活相談、就労相談など支援を強めること



### ■市民クラブで意見書を提案しました。

- 以下の2つを提案し、1つが可決されました。
- 可決：国による地方公務員の給与削減措置を講ずる要請に反対する意見書
- ×否決：生活保護制度の基準引き下げに反対する意見書

★ほぼ全ての議案・請願・意見書の全文と採決結果が向日市のホームページでご覧になれます。  
(トップページ「市議会」－「議案・議決結果」)

## シリーズ

### 「議会を変える！」④

市政チェックの役割を果たせるか？

向日市ではこの間、工事トラブルの損害を市民の税金で穴埋めする事件が続いている。

- ①5年前に前田地下道の下を通した公共下水道工事のトラブルで2億円2千万円の損害
  - ②4年前に発覚した北野台の宅地開発に伴う雨水貯留槽の漏水で1億5千万円の損害
- と多額の市民の税金が民間事業者の調査不備や不良工事の穴埋めに使われた。①については向

日市は損害賠償請求を断念した。②については今、損害賠償を求めて裁判中だが、現時点で市は議会に対して裁判に関わる情報提供を拒否している。両事件とも、業者の責任とともに行政の管理責任がどうだったのかが問われている。

これらの事件に対し、議会は市政チェックの役割を果たしているのかが問題だ。①の事件では、顧問弁護士からの検討報告書を市長が破棄していたことが明らかになったが、議会は多数の意思としてそれ以上追及せず、不問に付してしまった。②の事件については、先日の議会での私の質問に対し、市長は、裁判記録を議会に提出せよとの要求については、議会の正式の要請があれば検討すると答弁した。今回は議会の多数の意思として要求できるのか否か。議会の基本姿勢が問われている。(杉谷 伸夫)

# 杉谷伸夫の議会論戦

## 北野台裁判の資料を 議会に提出せよ！

### 1. 北野台の宅地開発に係る雨水貯留槽の欠陥で発生した市民の税金1億5千万円を取り戻す裁判の裁判記録を議会に提出せよ

私の情報公開請求に対して、市は「係争中の裁判記録は公開できない」との当初の姿勢を変更し、閲覧公開を認めました。しかし、専門知識をもった複数の市民がしっかりチェックできるよう、コピーの提出を求めています。

またこの裁判については、議会も一定の責任がある当事者だと思います。そこで議会としてチェ

ックできるよう、裁判記録を議会へ提出するよう求めました。

(2頁の「議会を変える」の記事を参照)

### 2. 原発防災対策を急げ

福島事故から2年もたつのに、向日市は大飯原発で重大事故が起きたら市民をどう守るのか、対策を何も作っていません。お隣の長岡京市は、すでに市民意見の募集を終えて、原子力事故対策計画案を公表しました。

向日市は、国の指針や京都府の計画が出されるのを待って、今年度対策計画を作る予定です。しかし、事故はそれまで待ってくれません。国の指示を待っていたら市民を守れません。「すぐ打つべき対策を！」と求めましたが、市長は「国の指示に従う」との答弁に終始しました。本当にこれでいいのでしょうか？

## シリーズ

## 原発事故③

### 福島の子どもの甲状腺ガンが多発

福島県の検診で、子どもの甲状腺ガンが早くも見つかっています。2011年度の0歳から18歳までの38,114人の検診だけで、3人のガン患者と7人のガン疑い（ほぼガンと見られる）が発見されたことが2月中旬に報じられました。しかし、このことを報道したマスコミは一部で、NHKや読売新聞は無視しました。

甲状腺ガンは子どもには珍しい病気で、18歳以下の子どもでは発見率は100万人に一人程度。検査機器の性能向上や検査方法の違いな

どを考慮しても、非常に高い発見率であり、チェルノブイリ事故後に日本の医師が現地で行った検診結果よりも高い値です。まだ精密検査がわずかしこ実施されていないので、今後発見数が大きく増えるの見込まれています。チェルノブイリでは、事故後5年後頃から患者が急増しています。日本の子どもたちも心配です。

ところが事故後2年も経つのに、子どものガン検診は福島県内においても遅々として進んでいません。北関東など福島県内並みの放射能被曝をした地域でも、子どもの健康被害が心配されていますが「検診対象外」。子どもも大人も、放射能被曝した人の健康診断と医療の補償は、国の責任で最優先で行うべきではないでしょうか。

## 街の話題

### 市内巡回バスはお預け

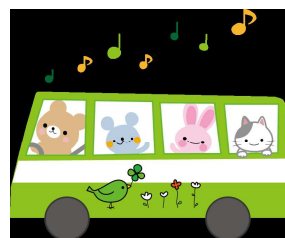
3/17検討委員会最終会合

3月27日、「向日市地域公共交通検討委員会」が開催され、これまでの5回に渡る検討のまとめを行いました。この委員会は、「向日市に最も適した公共交通支援策を検討する」として1年半前に市長が設置したもの。市内巡回バスを願う市民の声、議会での多くの議員の要求に対して、市長は「検討委員会を設置し、議論いただいているので、その結論を待ってから」としていました。

これまでに、市内巡回バスを含む4案が出され

ており、その具体的な検討の結果が出されるのかと思っていたのに、一切無し。事務局の報告の大半は、国交省が行った市民の移動実態調査結果の報告で、その後、「生活交通の維持・確保にむけた短期的な取り組み案」として、唐突に「既存バス路線の再編による対応」と、向日市地域公共交通会議（仮称）の設置が提案されました。結局市内巡回バスは、中期的な課題へ先延ばしです。

傍聴に来ていた多数の市会議員や市民から、思わずため息。市民委員からも「この2年間はいったい何だったのか？」の声も出ました。



## 京都府議会

### 「慰安婦」問題の意見書可決 会派をこえた女性議員の協力

山下 明子

#### 都道府県議会では初の快挙

向日市議会で『「慰安婦」問題について政府の誠実な対応を求める意見書』が採択されたのは、2010年3月24日です。私の誕生日でした。それから丸3年目の3月26日、京都府議会でも採択されました。共産党案が否決された後、公明党案に民主党と共産党が賛成しての成立です。意見書の内容は3党が合意するための苦肉の策で、少し曖昧な日本語もありますが、大事な文言は入りました。

私はアムネスティ日本の「慰安婦」問題チームのコーディネイターとして、他の市民運動の方々と、ロビー活動や集会、署名集めなど、さまざまに知恵を絞って活動してきました。しかし、最後に決定力になったのは会派をこえた女性議員たちの協力です。とくに公明党と民主党は一緒にドキュメンタリー映画「終わらない戦争」の上映会を議会棟内で行い、全議員が参加

しました。私たちも議員さんたちの自主性を尊重して、見守りました。

公明党に対する自民党の怒りは相当なものだったのと、民主党の中にも反対者がいたので巻き返しが心配だったのですが、本会議で無事に成立した瞬間は、あっけないものでした。その後、40人近い傍聴者とロビーで喜びを分かち合いました。

## 憲法9条は国の宝

安野 洋子

「9条の会」の9人の1人小田実が亡くなって今年で7年になる。死後「小田実の書物を読む会」が発足し今年4月からは5期に入る。

小田実は小説家と言うより（本人は物書きと言っていた）思想家だったから読書会が無かったら読まないような本を沢山読んで勉強させてもらっている。小田実が生きていたら「憲法9条は今こそ旬」と言っていただろう（「今でも」ではない）。小田実に続き加藤周一、井上ひさし、三木睦子も亡くなり心細い限りである。

7月の参議院選挙の結果、歴史が変わるのではないかと心配である。マスコミがどうしてアベノミクスを持ち上げるのか。円安でいいのは輸出ばかり。輸入品は値上がり。景気より大切なものがあるのではないか。

## 連載 ポイント解説 向日市の歴史

鈴木 健弘

### 第18回 長岡（9）

歴史を辿る時、多くの資料が僅かな現物と研究者の推論によるところが圧倒的に多い。だが最近では現物を基にした科学的な報告が圧倒している。100の理論より1つの実証が科学的であることが最重要である。古代史については豊富な資料があるわけではないが、せいぜい石器時代に残る資料が、金属類にも及ぶことをもう一度考える必要がある。

古い二十数年前の話だが、スイスアルプスの氷河の跡から、若い男の生々しい死体が発見さ

れた。この発見された場所はかなりの高所であるが、丁度凹地になっていて、氷雪にがっちり守られていた為、極めて良好な保存状態で、ミイラというより長期間冷凍されていたと云う方が近いかも知れない。衣類や持ち物のザック等より見て、山へ狩猟に来て雪崩に遭ったものと推定され、この人物が手に持っていたものらしい木の柄に縛り付けた斧が発見された。この斧が英国始め各国での科学調査の結果、確か5000～5500年以前のもものと判明した。この斧は純度としては劣るが、歴とした青銅製であった。この年代では、ヨーロッパには青銅器は未だ無かったというのが定説であったが、この発見によって従来の考え方を変えなければならない重要な発見となった。

単純に考えても、人類の文化なり技術というものは、われわれの考えている以上に古くかつレベルの高さを痛感させられる問題である。飛鳥時代以前は箸を使わず手で食べていたという全く根拠の無い話を、読者の何人が信用するのであろうか。